

# 水環境に配慮 5件選定

## 有機肥料や浄水器

### 県の「ビワコプロダクツ」

県は、琵琶湖の水草を原料とする植物性100%の有機肥料など、県内の企業や団体が開発した水環境保全に関する優れた5つの製品・サービスを「ビワコプロダクツ」として選定した。県は選定したビワコプロダクツをホームページで発信するなどの支援を行う。

県は昨年7月に、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」の琵琶湖版「マザーレイクゴールズ(MLGs)」を策定した。生物多様性の回復や環境保全につながる取り組みを通じてSDGsの達成に貢献することが目的で、「清らかさを感じる水に」「豊かな魚介類を取り戻そう」といった13の目標を打ち出し、2030(令和12)年までの実現を目指している。

県はMLGsと連動し、水環境技術や水環境をコンセプトに、原材料の選定や製造方法に配慮している製品、サービスをビワコプロ

ダクツに選定。国内外への普及を促すことにした。

第1回となった今回、ビワコプロダクツに選ばれたのは、おごとハーブ園アロマ精油を配合し、岩間山の水を使用している「美しいびわ湖石けん全身シャンプー」、美しいびわ湖ヘアリン

ス」▽企業などが刈り取った琵琶湖畔に生育するヨシで生地を作ったユニホームなどに変わる取り組み「タマユラサステナブルワークス」▽琵琶湖の水草を活用したオーガニック肥料「湖の恵」▽水道水の利用を促すことでペットボトルなど

プラスチックごみの減量につなげる高性能の「小型浄水器」▽琵琶湖の水草の灰をガラスに溶け込ませた花瓶や食器「琵琶湖彩」の5つの製品とサービス。

これらの製品・サービスは今後3年間、ビワコプロダクツのラベルを張って販売することができるほか、今後、県が参加する展示会などで紹介される。

県環境政策課の担当者は「今後も県内の優れた製品・サービスのブランド化を進め、県外や海外にも発信していきたい」と話している。



①ビワコプロダクツに選定された「湖の恵」(明豊建設提供)  
②色ガラス「琵琶湖彩(びわこいろ)」(ガラスイメカ提供)